

取材先	檜原ゆうあい会		
企画名備考	2024年度 夏期教室（水辺の観察）		
取材日	2024年8月7日(火) 天候[晴れ] [9:00~12:00]	取材地	檜原地区 稲見川

檜原ゆうあい会は、豊田町檜原地区周辺で、地域の再生・維持、花と学びの郷の整備・活用を目的に活動をしています。重点事業として「花と学びの郷」有効活用による青少年育成と地域活性 ①学びの森 妙栄寺窯跡等の活用事業 ②西市小放課後子ども教室との活動連携 ③地域・活動情報の発信事業があります。

その事業の一つ「西市小学校放課後子ども教室」夏期教室（水辺の観察）が8月7日（水）檜原の稲見川で行われ、32名の児童が自然や生き物について学びました。集まった子ども達は水着に着替え、配られた救命胴衣を着用し魚取り網を手手に、指導者のみなさんや講師と一緒に川の中へ入り観察を始めました。子ども達は、川岸の草が生い茂った場所や石の下を見て網ですくいながら生き物を探していました。バケツの中にはカワニナやエビ、オヤシラミ、カニなどが入っており皆で観察をした後、川へ戻りました。子ども達の観察ノートには「水が冷たくて気持ちよかった、たくさん生き物がいて楽しかった」「川で遊んで楽しかった」「魚はとれなかったけど楽しかった」など感想が書かれていました。会のみなさんは、危険な場所に行かないよう見守りや水分補給、休憩をとることなど安全に気を配った対応をしており、早朝からの準備、後片付けなど暑い中ご苦労も多かったと思いますが、子ども達の元気で楽しそうな様子に継続していく力をもらっているのでは、と感じました。

この後の事業は、大学生の地域研修の受け入れや藍染体験、観月会、親子茶道教室発表会と続き、さらに郷土史講座、育苗・花植え、諏訪山城と肥中街道探訪会などが予定されています。檜原ゆうあい会の活動に興味のある方はぜひ豊田町檜原地区へ足を運ばれてみませんか。

レポート

状況写真



柴田事務局長



指導者や講師の皆さんと一緒に生き物観察



網ですくった生き物を観察

